



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社エムアップ 上場取引所 東
 コード番号 3661 URL <http://www.m-up.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美藤 宏一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務経理部長 (氏名) 藤池 季樹 TEL (03)5467-7125
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・アナリスト向け

1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,852	—	228	—	232	—	162	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.16	22.07
25年3月期第2四半期	—	—

※当社は、平成25年3月期第1四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成25年3月期第2四半期の経営成績（累計）及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	2,587	1,496	57.4	220.10
25年3月期	2,298	1,468	63.9	218.23

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,485百万円 25年3月期 1,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	17.25	17.25
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	5.2	650	8.1	650	5.7	390	4.1	60.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理及びその評価は通期のみ実施しているため、第2四半期累計期間における業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	6,750,000株	25年3月期	6,724,800株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	86株	25年3月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	6,735,455株	25年3月期2Q	6,510,666株

平成24年8月1日及び平成25年1月1日付でそれぞれ普通株式1株につき2株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社の連結子会社でありました株式会社エムアップAEは、平成25年5月に当社に吸収合併されたことにより、第1四半期累計期間より連結財務諸表非作成会社となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
第2四半期累計期間	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、経済及び金融政策への期待を背景とした為替相場の是正や株高が定着し、企業収益や雇用環境が改善、個人消費も持ち直し傾向にあるなど、回復の動きを強めております。一方で、来年度からの消費増税が決定し、原材料価格や電気料金に上昇も見られるなど、先行きについてはなお不透明な状況にあります。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の利用が拡大し、また、高速モバイル通信の普及等に伴うインターネットの利用環境の整備が進むなど、今後も安定的な成長が期待されております。

モバイルコンテンツ分野につきましては、平成25年9月末におけるスマートフォン契約数が5,015万件、携帯電話端末全体に占める割合が42.2%に達するなど、利用者を増加させております(出所:株式会社MM総研)。

スマートフォンの普及と利用増加に伴い、平成24年のモバイルコンテンツ市場規模は、全体で8,510億円(前年同期比15.9%増)となり、拡大のペースを加速させております。中でも、スマートフォン向けコンテンツ市場は、3,717億円(前年同期比361.2%増)と急成長しており、モバイルコンテンツ配信市場においても主力となりつつあり、スマートフォンの位置付けはより重要性を増しております(出所:総務省)。

eコマース市場においても、モバイルコンテンツ市場と同様にスマートフォンが牽引役となり、市場規模は拡大しております。平成24年のモバイルコマース市場は、14,997億円(前年同期比28.0%増)と、PCに近い表現力を持ち、時間や場所を選ばずに利用できるスマートフォンの特性によって、ユーザー層や利用機会ともに広がり、順調な拡大を続けております(出所:総務省)。

このような外部環境の中、当社は、アーティストやタレント、キャラクターなどを幅広く取り扱い、ファンクラブサイトや音楽、しゃべってキャラといった多岐にわたるデジタルコンテンツから、eコマースまでを複合的に事業展開するという強みを生かし、事業間やサイト間でのシナジー効果を発揮させることのできる事業体制の構築に努めてまいりました。その基盤となる有料会員につきましては、新規コンテンツの獲得と投入や、公式サイトの開設に引き続き注力し、基盤の拡大を図ってまいりました。普及が進むスマートフォンへ向けた取り組みといたしましては、スマートフォン向けの新規コンテンツサービスを今後の当社の重要な月額会員制サイトと位置づけ、キャラクターを中心としたコンテンツを積極的に投入し、有料会員数の獲得を進めるとともに、キャリアの主導するスマートフォン向けコンテンツサービスへの参入によって、新規会員獲得のための間口も拡大することができました。

音楽映像商品の直販事業につきましては、当社が携帯及びPCコンテンツ配信事業でファンクラブサイトを展開するアーティストに加えて、大手レコード会社との提携による販売サイト運営管理を行うことにより、取り扱うアーティスト及び商品の拡充を図ってまいりました。

また、平成25年9月には株式会社ゆるキャラとの間で、ゆるキャラグランプリの運営管理、ゆるキャラを使用したデジタルコンテンツの運営及び配信、並びにゆるキャラ関連商品のeコマースサイト運営に関する業務提携を行い、新たなビジネス領域を開拓いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は1,852百万円、営業利益は228百万円、経常利益は232百万円、四半期純利益は162百万円となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、顧客基盤の拡大を図るべく、新規アーティスト等の獲得とそのファンクラブサイトの開設、キャラクター等のコンテンツの充実に引き続き注力してまいりました。

利用者の増加するスマートフォンへ向けた取り組みといたしましては、すでにスマートフォン対応を完了させたキャリア公式サイトへのフィーチャーフォン会員の移行を促進してまいりました。また、しゃべってキャラなどスマートフォン向けコンテンツサービスにつきましても、ゆるキャラをはじめとしたキャラクターの獲得とコンテンツ制作を進め、新規有料会員の開拓を進めてまいりました。また、「マチ★キャラとり放題 for スゴ得」及び「韓流大好き！ for スゴ得」を、NTTドコモの月額使い放題のスマートフォン向けサービスである「スゴ得」へと提供し、利用者ランキングの上位を獲得するなど、新たな収益機会の確保にも努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は1,328百万円、セグメント利益は308百万円となりました。

②PCコンテンツ配信事業

PCコンテンツ配信事業につきましては、アーティスト及びタレント等の有料ファンクラブサイトにおいて、パッケージ商品やコンサートチケットの先行販売などを実施し、会員の維持、拡大を推進してまいりました。また、アーティストだけではなくスポーツ選手などのオフィシャルサイトの受託制作など、他の事業セグメントも含め、将来の新たな収益の獲得と拡大に繋がることを見据えた事業展開を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間におけるPCコンテンツ配信事業の売上高は100百万円、セグメント利益は6百万円となりました。

③eコマース事業

eコマース事業につきましては、CD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品を事業の中核に据え、当社がファンクラブサイトを運営するアーティスト等の音楽映像商品の直販と、大手レコード会社との提携によるレコード会社の公式販売サイトの運営管理の両面から、事業を展開してまいりました。引き続き、サイト限定やオリジナル商品の取り扱い、購入特典の付与によって、認知度の向上と利用促進を図ってまいりました。

また、これまでは主に当社の買取による販売を行っていたアーティストグッズについて、取り扱う商品が増加してきたため、販売方法を買取から委託へと切り替えることによって、より在庫リスクを抑えた販売方法へと転換してまいりました。

加えて、全国各地のゆるキャラに関連する、ぬいぐるみやステーションナリーグッズなど様々な商品を販売する「ゆるキャラランド」や、韓流商品専門のオンラインショップ「韓流★通」を開設するなど、これまでのeコマースサイト運営のノウハウを活用し、音楽映像商品以外の分野へも進出し、事業領域を拡大いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間におけるeコマース事業の売上高は423百万円、セグメント利益は86百万円となりました。

(注) 当社は、前第1四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成25年5月付で連結子会社株式会社エムアップAEを吸収合併したため、連結財務諸表非作成会社となりました。したがって、平成26年3月期第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産は2,587百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金551百万円、売掛金678百万円、商品231百万円であります。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債合計は1,090百万円となりました。

主な内訳は、買掛金707百万円、未払法人税等107百万円であります。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産は1,496百万円となりました。

主な内訳は、資本金189百万円、資本剰余金215百万円、利益剰余金1,108百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は551百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは400百万円となりました。

主な内訳は税引前四半期純利益258百万円および仕入債務の増加額112百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△245百万円であり、支出の主な内訳は投資有価証券の取得による支出1,303百万円と投資有価証券の売却による収入1,060百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは63百万円であり、支出の主な内訳は配当金の支払額△104百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における我が国の経済は、東京オリンピックの開催も決定し、回復へ向けた動きが確かなものになると期待されるものの、来春に控えた消費増税や円安による原材料価格の上昇など、依然として先行きは不透明な状態にあります。

また、当社の属するインターネット関連市場につきましては、急速なスマートフォンの普及が継続しており、コンテンツ配信市場もスマートフォンが主軸になりつつあるなど、市場は大きな転換点を向かえております。そのため市場環境の変化は早く、かつ大きいため、それらの当社事業に与える影響の測定は困難な側面もあります。

こうした事業環境の中、当社はいち早く既存サイトのスマートフォン対応を完了させ、フィーチャーフォン向け公式サイト会員のスマートフォンサイトへの移行を進めており、会員数ではスマートフォンがフィーチャーフォンを上回る状況となっております。加えて、新たに開設したスマートフォン向け公式サイトについては、積極的なコンテンツ獲得や制作と投入によって、新規有料会員の獲得を推進すると同時に、新規ジャンルと開拓と複合的なサイト展開により、一部のコンテンツやその流行に左右されることのない、強固な事業基盤の構築を進めております。また、ファンクラブサイトを運営するアーティストのCD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品の直販や、大手レコード会社のオフィシャルECショップを通じた商品展開に引き続き注力しております。費用面では、販売の拡大に比例し増加するロイヤリティ等や、スマートフォン向け公式サイトでの会員獲得のための広告宣伝費用の増加を見込んでおります。

この結果、平成26年3月期の業績予想として、売上高4,500百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益650百万円（前年同期比8.1%増）、経常利益650百万円（前年同期比5.7%増）、当期純利益390百万円（前年同期比4.1%増）を予想しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

当社は、前第1四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成しておりましたが、平成25年5月付で連結子会社株式会社エアップAEを吸収合併したため、連結財務諸表非作成会社となりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	257,265	551,751
売掛金	601,354	678,865
商品	296,534	231,297
1年内回収予定の長期貸付金	152,400	139,000
繰延税金資産	40,123	60,985
その他	47,015	85,277
貸倒引当金	△3,696	△9,872
流動資産合計	1,390,997	1,737,304
固定資産		
有形固定資産	46,525	117,551
無形固定資産		
のれん	—	88,246
その他	59,934	49,419
無形固定資産合計	59,934	137,665
投資その他の資産		
投資有価証券	314,380	493,174
関係会社株式	360,018	—
長期貸付金	112,600	49,636
繰延税金資産	1,069	27,371
その他	63,318	65,471
貸倒引当金	△50,000	△41,036
投資その他の資産合計	801,387	594,617
固定資産合計	907,848	849,835
資産合計	2,298,845	2,587,140
負債の部		
流動負債		
買掛金	543,659	707,040
未払法人税等	120,524	107,393
賞与引当金	24,360	25,495
役員賞与引当金	30,000	15,000
その他	95,527	213,491
流動負債合計	814,072	1,068,420
固定負債		
資産除去債務	11,686	11,766
その他	4,714	10,451
固定負債合計	16,400	22,218
負債合計	830,473	1,090,639

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	186,304	189,139
資本剰余金	212,571	215,406
利益剰余金	1,059,777	1,108,755
自己株式	△48	△48
株主資本合計	1,458,605	1,513,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,914	△27,575
評価・換算差額等合計	8,914	△27,575
新株予約権	853	10,822
純資産合計	1,468,372	1,496,500
負債純資産合計	2,298,845	2,587,140

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,852,697
売上原価	1,250,327
売上総利益	602,370
販売費及び一般管理費	373,581
営業利益	228,788
営業外収益	
受取利息	3,298
受取配当金	77
有価証券売却益	13,578
貸倒引当金戻入額	2,994
その他	1,066
営業外収益合計	21,015
営業外費用	
株式公開費用	17,785
営業外費用合計	17,785
経常利益	232,018
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	26,242
特別利益合計	26,242
税引前四半期純利益	258,260
法人税、住民税及び事業税	105,733
法人税等調整額	△10,183
法人税等合計	95,550
四半期純利益	162,710

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	258,260
減価償却費	16,114
株式報酬費用	9,969
のれん償却額	17,643
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,655
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,060
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△26,242
受取利息及び受取配当金	△3,375
株式公開費用	17,785
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,578
売上債権の増減額(△は増加)	12,656
たな卸資産の増減額(△は増加)	67,688
仕入債務の増減額(△は減少)	112,384
未払金の増減額(△は減少)	4,149
その他	66,208
小計	514,950
利息及び配当金の受取額	3,375
法人税等の支払額	△118,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△77,211
無形固定資産の取得による支出	△2,097
投資有価証券の取得による支出	△1,303,087
投資有価証券の売却による収入	1,060,198
貸付金の回収による収入	75,963
その他	288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,670
短期借入れによる収入	180,000
配当金の支払額	△104,516
その他	△17,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,367
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	217,586
現金及び現金同等物の期首残高	257,265
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	76,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 551,751

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテンツ 配信事業	eコマース 事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	1,328,461	100,908	423,326	1,852,697	—	1,852,697
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,328,461	100,908	423,326	1,852,697	—	1,852,697
セグメント利益	308,727	6,790	86,278	401,796	△173,007	228,788

(注) 1. セグメント利益の調整額△173,007千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。